

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名：北九州市 建設局

事業の名称：新若戸道路

実施都市名：北九州市

事業目的

北九州市の若松・戸畑区間にある若戸大橋はボトルネック状態となっており、特に朝夕のピーク時には慢性的な交通渋滞が発生している。

さらに、若戸大橋の維持補修等工事時の交通規制や交通事故・台風等の不測の事態が発生した場合における危機管理の観点から、若松・戸畑間の経路多重化を図る必要性がある。さらに、近年、響灘地区における企業立地が進み、さらなる交通量の増加が予測される状況である。

新若戸道路は、若戸大橋の渋滞緩和及び広域幹線道路へのアクセス強化を図り、響灘地区の交通需要の増加への対応、リダンダンシー確保を目的とした道路である。

事業概要

事業名称:新若戸道路

事業箇所:北九州市若松区北浜一丁目～戸畑区新池三丁目

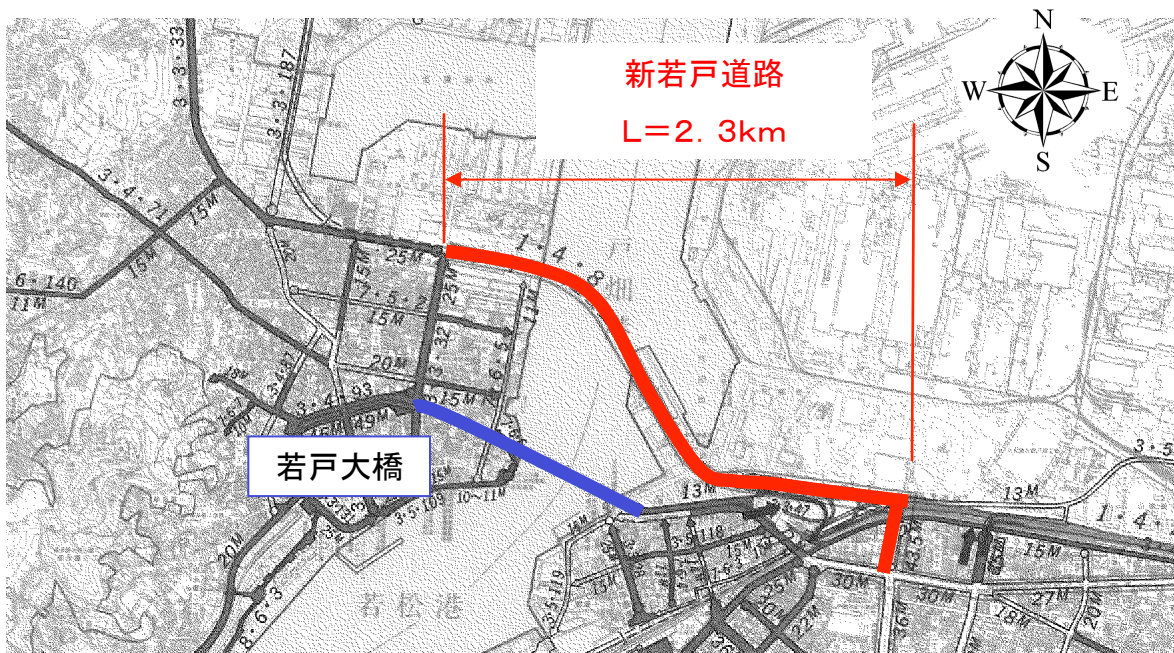
延長:2.3km

幅員:18～52m(4車線)

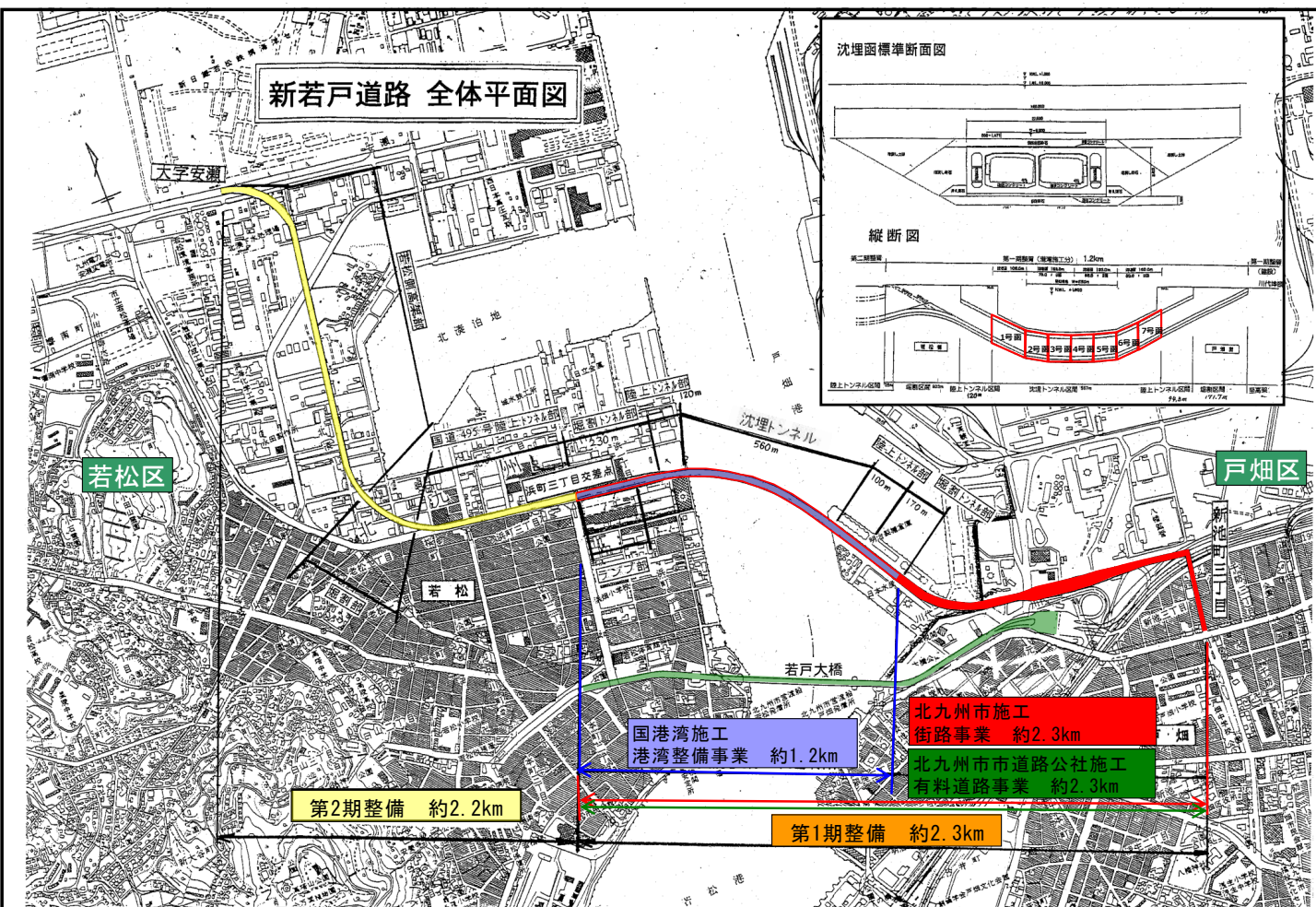
事業実施期間:平成12年～平成24年9月

新若戸道路は、北九州市の若松区と戸畑区を隔てる洞海湾を横断する道路であり、洞海湾を横断する部分には「沈埋トンネル工法」を採用し、これまで長年にわたって他の沈埋トンネルなどで技術開発されてきた数々の技術を集大成することにより、施工の効率・円滑化およびコストの縮減を行った。

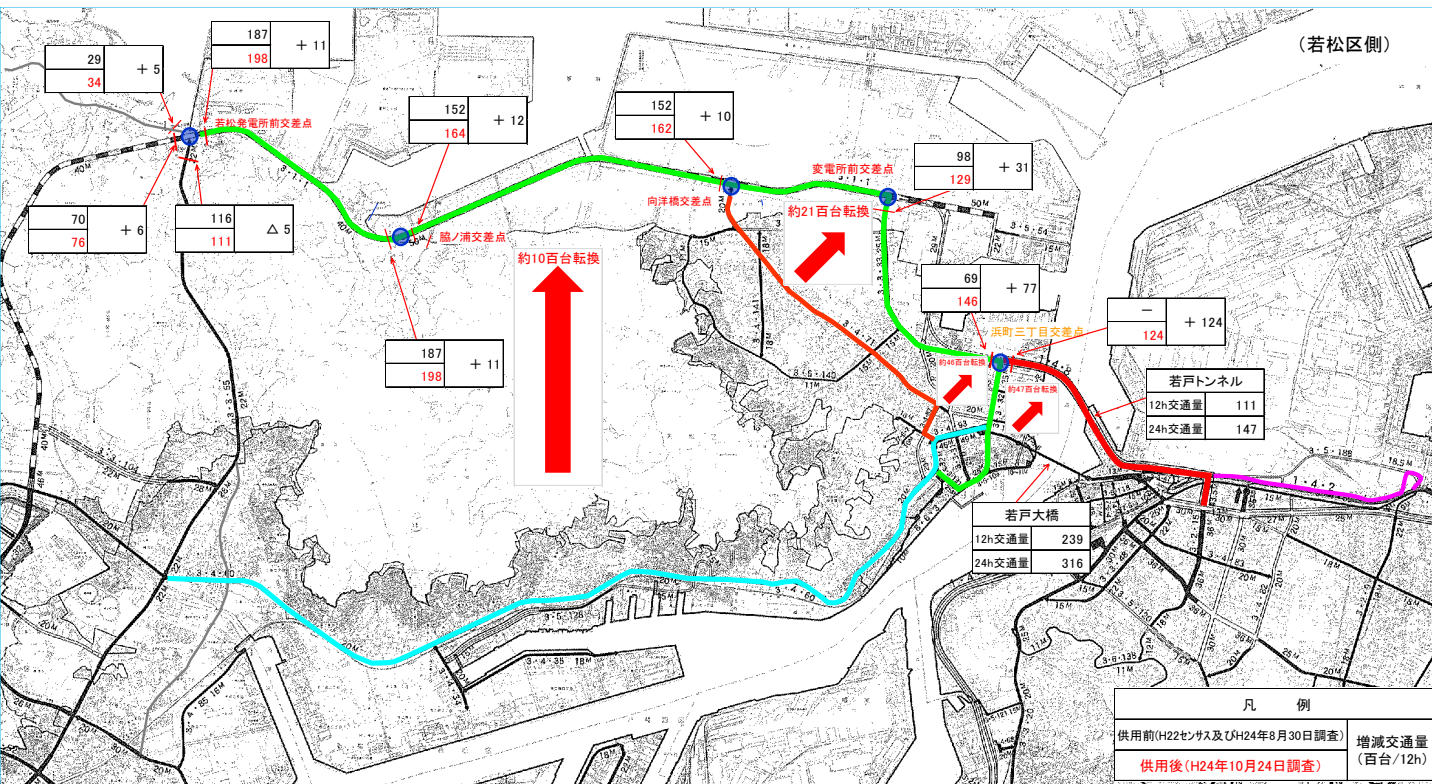
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



新若戸道路の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:新若戸道路整備事業

路線名:新若戸道路

事業箇所:北九州市若松区北浜一丁目
～戸畑区新池三丁目

事業延長:2.3km

幅員:18～52m

総事業費:1,000億円

事業期間:平成12年～平成24年

「整備効果」

【交通渋滞の緩和】

若戸大橋で生じていた慢性的な渋滞の緩和

【移動距離の短縮】

企業の産業立地が進む響灘地区臨海部からの市街地への移動距離が約2.0km短縮

【複数ルート】

洞海湾を横断するルートが橋梁形式とトンネル形式の2ルート確保され、事故や台風等の強風、積雪時の通行止めによる影響が軽減。

【地域環境の改善】

交通の分散化による市街地への騒音の軽減、渋滞緩和によるCO₂、NO_xの排出ガス削減
照明灯にLED照明灯を採用しCO₂削減(照明数:282台、うちLED140台)

事業前写真

新若戸道路 戸畑側



新若戸道路 若松側



事業後写真



平成24年9月撮影



平成24年9月撮影

